



かわはた



鹿狼山頂（新地町）からの初日の出

< contents >

～新年の挨拶～

院長 佐久間博史・・・・・・・・・・・・・・P2

～透析室より～

【NEW】透析機器が新しくなりました・・・・・・・・P3

～緩和ケア委員会より～

緩和ケアとは・・・・・・・・・・・・・・P4. 5

～写真コーナー～

お楽しみ食堂開催・・・・・・・・・・・・・・P6. 7

～診療予定表～

新年の挨拶



院長 佐久間博史

昨年は、台風19号による大雨の被害や川俣町のビッグイベントが中止になるなど暗いニュースが町内でありましたが、今年は東京オリンピックも開催され、なんとか明るい景気の良い年にしたいものです。

さて、昨年9月厚生労働省は、地域医療構想の観点から「再編や統合の議論が特に必要な病院」として全国で424の公立及び公的病院を公表し、当院も含まれていたことに驚きと怒りを感じました。公表の基準は「がん・心疾患・脳卒中等の9領域で診療実績が少ない」ことが該当したわけですが、当院は、地域包括ケア病棟を急性期で報告していたことから該当してしまったため、地域や病院の実情を全く無視した厚労省の発表は納得いきません。都市部の急性期の大病院と地方の小規模病院を、単一の基準で判断すること自体が間違っていると言わざるを得ません。人口減少が予想を上回るスピードで進んでいる当地域では、医療は地域を維持するためには欠かせないものです。地域包括ケアシステムを構築するべく現在進めている「済生会川俣地域ケアセンター」を充実発展させることが我々の進む道です。

今年の重点目標

- ①患者本位の医療—皮膚トラブルをなくす
転倒の防止
- ②透析医療の充実—医大附属病院腎臓内科との
ネットワークの構築
- ③チーム医療の強化・職員同士の連携

NEW

透析機器が新しくなりました

臨床工学技士 小林 剛



この度、人工透析室では川俣町から補助を受けて透析装置の更新を行いました。
人工透析室は、平成18年12月にベッド数15床で透析装置13台、血液ろ過透析装置2台で患者様数名という状況から始まりました。
令和元年9月23日に装置の更新を行い、新たな透析装置で治療を行っています。現在は、患者数28名の方が透析治療をされています。

更新された透析装置に使用される透析液は、安心して透析を受けて頂けるように、今まで以上に精度管理に努めています。透析治療、血液ろ過透析治療の精度向上のため、透析液をオンライン化するとともに、血液ろ過透析装置（HDF）を2台から4台へ増設いたしました。

オンラインHDFとは...

血液透析に血液ろ過を加えた治療法です。

ろ過量を増やすために補液をし、血液透析よりろ過を多量に行うことで、血液透析では十分に抜けにくい低中分子タンパクといわれる物質を取り除くことが出来ます。その為、体に必要なたんぱく質も多少抜けてしまいます。患者さんの状態によっては向かない場合もあります。

また、透析液を補充液に使用できるのは、厳重な透析液の水質管理をしていなければなりません、透析室内の機械室で無菌状態の超純水の補充液を精製し、治療装置に直接接続し血液に補充しています。このため、きれいな透析液や補充液を精製することが絶対条件であり、厳しい水質管理を実施し毎月必ず細菌等が混入していないかの検査を行います。

このオンラインシステムは令和2年1月中旬から運用開始となっています。

地域の皆様、患者様及びご家族様にはあたたかいご支援いただきありがとうございます。今後も地域に貢献できますよう病院スタッフ一同取り組んで行く所存でございます。

～ 緩和ケア委員会より ～

緩和ケアとは？



緩和ケア認定看護師

菅野ひとみ

緩和ケアとは

「緩和ケア」という言葉は、1990年前後に我が国に紹介され、使われるようになりました。同時期、1990年には世界保健機構（以下、WHO）が「緩和ケアの定義（2002年に改訂）」を公表しています。WHOが定義する緩和ケアをわかりやすくするために、日本緩和医療学会は「緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケア（日本緩和医療学会、2013）」という説明文を作成しています。

【歴 史】

国際的な緩和ケアの歴史は古く、11世紀に十字軍で設けられた巡礼者や傷病者のための安息所に始まります。その後、フランスやアイルランドにホスピスの原型が設立されました。日本の緩和ケアの歴史はおよそ40年余りで、淀川キリスト教病院の「死にゆく人たちのための組織されたケア」というチーム活動が最初の実践とされています。

【全人的苦痛】

緩和ケアの基本的な考え方に、全人的苦痛という概念があります。痛みなどの身体的苦痛だけでなく、不安や抑うつ等の精神的苦痛、仕事、家庭、経済上の問題などの社会的苦痛、なぜ自分はがんになってしまったのだろうか、自分の人生に意味があったのだろうか、何か悪いことをした罪なのだろうか、といったスピリチュアルペイン（霊的苦痛）などを全人的苦痛（トータルペイン）としてとらえます。これは、患者の症状だけを見るのではなく、1人の人間としてとらえ、すべての苦痛を緩和する必要があるという考え方です。また、早期からの緩和ケアが生命予後を延長することが研究で分かっています。

【緩和ケアの対象】



緩和ケアは、20世紀後半に主になんかをモデルとして確立されてきましたが、今日ではがんだけでなく、非がん患者の苦痛に対する緩和ケアの必要性が明らかになっています。2014年1月にWHOと世界緩和ケア連合（WPCA）が発刊した「終末期の緩和ケアの世界地図」では、①緩和ケアを必要とする人の10人に1人しか緩和ケアが届いていないこと、②緩和ケアを必要とする人の3人に1人は末期がんであるが、3人に2人は心臓・肺・肝臓・腎臓・脳あるいはAIDS及び薬剤耐性の結核を含む慢性疾患などの非がん疾患であることが示されました。特に、認知症の緩和ケアは、先進諸国で緩和ケアの中心テーマとして取り上げられる等、超高齢者の緩和ケアが最重要課題とされています。

【認知症の緩和ケア】

進行した認知症のケアは、緩和ケアが唯一推奨されるケアとされています。認知症を患ったその時から、「症状のコントロール」「家族支援」「チームワーク」「コミュニケーション」の4側面からの支援によって、その人の「幸せの範囲を広げるケアを共に創る」ことが大切です。



【当院での取り組み】

昨年発足した緩和ケア委員会は、院内外が多職種が集まって隔月開催しています。メンバーが所属する部署の課題についての話し合いや、事例検討を通して緩和ケアの理解を深めています。また、スタッフが緩和ケアの視点を持って患者さんやご家族と接することができるようにするため、緩和ケア関連の勉強会の企画も行っています。

患者さんやご家族の様々な苦痛が少しでも和らぎ、お一人おひとりの希望に沿ってその方らしい時間を過ごしていただけるよう、スタッフの専門性を活かしてチーム医療を推進していきます。



（参考・引用文献）

日本緩和医療学会（編） 専門家をめざすひとのための緩和医療学（2016）南江堂
宮下光令（編） ナーシンググラフィカ成人看護学⑥緩和ケアP13～17（2016）メディカ出版
平原佐斗司・桑原美代子（編） 認知症の緩和ケアP1～10（2019）南山堂

☆ お楽しみ食堂 開催 ☆



令和元年12月21日（土）、第1回「おたのしみ食堂」～子どもと高齢者の交流会～を川俣町保健センターにて開催しました。

このイベントは、済生会川俣地域ケアセンター、川俣町、川俣町社会福祉協議会が連携し、食を通じて子どもと高齢者が交流する場を提供することで、地域とのつながりの希薄化などによる「社会的孤立」を予防することを目的に企画されました。

開催当日は天候にも恵まれ、61名（高齢者32名、子ども29名）の方に参加いただきました。また、遠方で来られない方のために送迎支援を行い、移動手段がないことで普段外出ができないといった方にも出来るだけ参加していただけるよう努めました。

「おたのしみ食堂」では、子どもと高齢者が一緒に行える健康体操や昔遊び体験（輪投げ選手権、けん玉、コマ回し、竹とんぼ、あや取り、お手玉、コマの絵付け）並びに昼食会が行われました。昼食会では、豚汁やおにぎり、クリスマスメニューが振舞われました。

その中で、高齢者が子どもに昔遊びを教えたり、食事をしながら笑顔で交流する場面が多くみられ、参加した方からは「ご馳走がいっぱい、盆と正月と一緒に来たようだ」「こんなに楽しめたのは久しぶり」といった喜びの声が聞かれました。

これからも「おたのしみ食堂」を始め様々なイベントを企画し、地域の方々が互いに交流し支え合えるような地域づくりを目指していききたいと思います。

（社会福祉士 櫻井公大）





外来診療予定表

令和2年1月現在

			受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	一診	8:45~11:30	佐々木俊教	数田 良宏	佐々木俊教	大庭 敬	大庭 敬	佐久間博史 大庭 敬 佐々木俊教 数田 良宏 (交代制)
		二診	8:45~11:30	山口 鶴子	君島 弘子	佐久間博史	君島 弘子	君島 弘子	山口 鶴子
		三診	8:45~11:30					福島医大 大平 弘正 (不定期 要予約)	
		循環器	8:45~11:30		福島医大 肱岡奈保子				済生会福島 山口 修 第2
		リウマチ	8:45~11:30						福島医大 渡辺 浩志 第1 (要予約)
		糖尿病 外来	8:45~11:30		済生会福島 本間美優樹 第1・3				
	午後	一診	13:00~16:00	大庭 敬	佐久間博史 診察 15:00終了	数田 良宏	佐久間博史	君島 弘子	
		リウマチ	13:00~16:00					福島医大	
外科	午前		8:45~11:30		福島医大	芳賀 志郎		済生会福島 総合病院	
	午後		13:00~16:00		福島医大				
整形外科	午前		8:45~11:30	福島医大		福島医大			福島医大
泌尿科	午後		13:00~16:00	山中 直人 第2・4 診察14:30~				山中 直人 診 察 14:30~	
眼科	午前		8:45~10:30				福島医大		
	午後		13:00~15:00		福島医大 (完全予約制)	福島医大		福島医大	
皮膚科	午後		13:00~16:00				高橋 博 診 察 14:00~		



済生会川俣病院

電話 024-566-2323

FAX 024-566-2325

ホームページ <http://www.kawamata.saiseikai.or.jp/>

済生会春日診療所

電話 024-566-2707

FAX 024-566-2707

なでしこ川俣

電話 024-566-2661

FAX 024-566-2665

川俣町地域包括支援センター

電話 024-538-2600

FAX 024-538-2601

済生会かわまた居宅介護支援事業所

電話 024-566-2657

FAX 024-566-2658

済生会川俣光風園

電話 024-566-3221

FAX 024-566-3331